

## Vol.29 家庭での洗濯に関する調査

詰襟やセーラー服などは、昔は家庭で洗えないというイメージが強かったと思いますが、最近は家庭で洗える制服が多くなってきています。しかし、洗濯は面倒という人もいないのでしょうか？

そこで、今回は中学生、高校生の子どもの持つ母親に洗濯についてうかがいました。

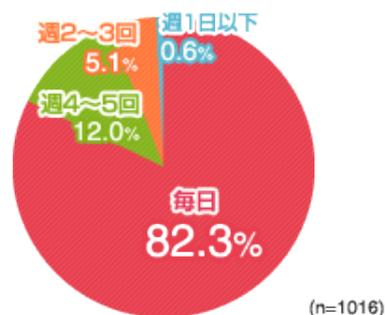
### 調査概要

調査対象：全国の中学生、高校生の母親  
1,016人  
調査方法：インターネットリサーチ  
実施時期：2008年4月



### Q 洗濯の頻度は？

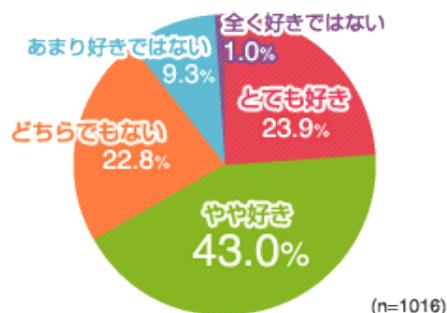
家庭での洗濯の頻度は「毎日」という人が最も多く、82.3%でした。「週1回以下」という人はほとんどおらず、1%未満でした。



【図1】洗濯の頻度は？(単数回答)

### Q 洗濯は好きですか？

洗濯が「とても好き」「やや好き」と回答したのは、全体で66.9%となっており、洗濯が「好き」という人が多いといえます。



【図2】洗濯は好きですか？(単数回答)

## Q 制服の洗濯で失敗した経験

ポケットの中に、紙くずやティッシュなどが入っているのに気づかずそのまま洗ってしまい、大変なことになってしまったという失敗経験が多く見られました。また、アイロンがけで失敗したという声も多くあげられました。

### 【制服の洗濯で失敗した例】

- ・ポケットに生徒手帳を入れたまま洗ってしまった。(30代・専業主婦)
- ・ポケットの中にティッシュが入っているのを確認せずに洗濯機で洗ってしまい、洗い上がりが悲惨な状態になってしまった。(40代・パートタイム)
- ・同じ黒い色だから良いと思い一緒に洗ったら他の衣類の繊維が付いてしまった。(30代・フルタイム)
- ・アイロンがけの時に折り目を間違えてしまっって変な型がついてしまった。(40代・専業主婦)
- ・ズボンを洗った時に乾いていなかったのに乾燥機にかけたら縮んでしまって、子供は気がつかないだろうと思っていたら履いたらわかってしまって、裾上げしたのをもとにもどした。(40代・フルタイム)
- ・シミをとろうとして、シミがとれるどころかさらに薬品シミができてしまい、クリーニングに出せる週末までそのまま制服を着せておくしかできなかったこと。(40代・専業主婦)
- ・洗濯のためにはずした名札を無くしてしまった。(40代・パートタイム)

## 🏠 まとめ

洗濯は、どの家庭でもほとんど毎日されています。洗濯が嫌いという人は少なく、むしろ好きだという人のほうが多いことがわかりました。しかし、制服を洗濯する際にポケットの中のものを出し忘れてしまったり、洗濯後のアイロンがうまくかけられなかったりと、失敗した経験を持っている人もいました。

制服は毎日着るものだからこそ、家庭で洗濯をしたいという意向が強いと思います。しかし、趣味や仕事で忙しい母親が増えてきている中、ただ家庭で洗濯できるだけではなく、イージーケアできるものが求められています。生活の多様化とともに、制服も進化していくことが求められているように感じます。

毎月最終  
火曜日  
更新

## kanko ホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

kanko ホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。  
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://ozaki.jp/homeroom/>